

2021年度

# テクニカルアナリスト国際資格 第2次通信教育講座のご案内

現状認識は適切か？  
予測と期待を混同していないか？  
どちらのシグナルが正しい？

- ・エリオット波動のオルタネーションについて述べよ
- ・図のボリンジャーバンドをみて、現在の相場状況と今後の見通しについて説明せよ

※実際に出題された問題の一例です。

受講申込締切:2021年3月17日(水)  
開講期間:2021年4月~8月(5カ月)

## ■ テクニカルアナリスト資格について

テクニカルアナリスト資格には第1次資格・第2次資格・第3次資格の3段階があります。この案内は、第2次資格取得のために必要な「第2次通信教育講座」に関するものです。当講座では証券投資理論やテクニカル分析の実践的な使い方を学び、それを文章で表現する力を養います。

受講修了者には、第2次資格試験の受験資格が与えられ、試験に合格し登録すると、国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA, International Federation of Technical Analysts, 本部アメリカ合衆国) より、右図のような国際資格の英文認定書が授与されます。



## ■ 第2次通信教育講座の募集概要

- ①受講資格：2021年3月31日現在のCMTA®資格保有者で当協会会員である者
- ②募集期間：2021年2月1日(月)～3月17日(水)
- ③開講期間：2021年4月～8月(5カ月間)
- ④受講料：55,000円(税込) ※再受講料は33,000円(税込)。募集締切日までにお振込みください。
- ⑤申込：原則として、当協会ホームページよりインターネットでお申込みください。
- ⑥振込先：三菱UFJ銀行 日本橋支店 普通預金 NO.2017789  
特定非営利活動法人 日本テクニカルアナリスト協会  
トクヒ)ニホンテクニカルアナリストキョウカイ  
※振込手数料は申込者負担となります。
- ⑦中途解約：受講者が、やむをえない事由により受講を辞退した場合の取り扱いは以下の通りです。
  - a.教材等発送前の申出は全額返還します。
  - b.教材等発送後の申出は当協会の規程に基づき返還します。

## ■ 第2次通信教育講座の概要

- ・模範解答でプロの分析手順を学べます。
- ・ブラッシュアップ講座で一流のテクニカルアナリストの説明を聴けます。
- ・WEB動画で講座を好きな時に視聴できます。

第2次通信教育講座の受講期間は、4月～8月の5カ月間です。練習問題は、第1次通信教育講座とは異なり、すべて手書きの小論文形式で、毎月1回、計5回出題されます。これは、第2次資格が、テクニカル分析手法を用いて相場の現状把握や投資判断を適切に行い、マーケット・レポートが書けることを到達目標としているためです。

## ■【参考】テクニカルアナリスト資格の全体像

		第1次資格 CMTA <sup>®</sup>	IFTA 第2次資格 CFTe <sup>®</sup>	IFTA 第3次資格 MFTA <sup>®</sup>
通信教育	受講資格	不問	CMTA <sup>®</sup> 資格保有者かつ 当協会会員	
	募集期間	年2回 4月～5月・10月～11月	年1回 2月～3月	
	受講期間	年2回 6月～10月・12月～翌年4月	年1回 4月～8月	
	練習問題	全5回	全5回	
	受講料	55,000円(税込)	55,000円(税込)	
資格認定試験	受験資格	上記講座の受講者 ※初回受講後3年以内	CMTA <sup>®</sup> 資格保有者かつ 上記講座の受講者 ※初回受講後3年以内	CFTe <sup>®</sup> 資格保有者かつ 当協会会員
	試験形式	○×式(マークシート) 120分	小論文形式 180分	要約提出と 本論文提出
	試験時期	年2回 1月・7月	年1回 11月	年2回 4月・9月
	受験料	11,000円(税込)	22,000円(税込)	950米ドル
	資格名	日本テクニカルアナリスト協会 認定テクニカルアナリスト <b>略称 CMTA<sup>®</sup></b> (Certified Member of The Nippon Technical Analysts Association) NTAA 2,402名	国際テクニカルアナリスト連盟 認定テクニカルアナリスト <b>略称 CFTe<sup>®</sup></b> (Certified Financial Technician) NTAA 532名	国際テクニカルアナリスト連盟 検定テクニカルアナリスト <b>略称 MFTA<sup>®</sup></b> (Master of Financial Technical Analysts) 151名のうちNTAA 47名
到達目標	テクニカル分析に関する 基本的な知識および 使用方法を習得している	テクニカル分析を用いた 適切な現状判断と投資判断が でき、マーケット・レポートが 作成できる	国際テクニカルアナリスト 連盟の知識データベースに 新たな視点を加える	

※資格保有者人数は、2020年12月末現在です。

※受講料および受験料は、消費税10%を含んでおります。

※CFTe<sup>®</sup>のIFTAへの国際資格登録料200米ドルは協会負担です。

## ■ テクニカル分析について

投資対象の価格の変化は、投資家心理の変化を背景として投資対象の需給が変化することによって生じると考えられています。そこで、価格の変化や売買高の変化を分析することによって、その背景にある投資家の判断の変化を探り、ひいては投資対象の将来の価格変化をも探ろうとするのが「テクニカル分析」です。また、価格は悲観と楽観の間で推移しますが、いずれにも行き過ぎてしまうのが常で、この行き過ぎを捉えようという意図で考案された手法もあります。

投資対象の本来的価値を探り、それと市場価格とを比較するのが「ファンダメンタル分析」ですが、「ファンダメンタル分析」では「何を買えば良いのか」を知ることができますが、「いつ売買すれば良いのか」についてはシグナルを出しません。一方、「テクニカル分析」では、「いつ売買すれば良いのか」というシグナルは出ますが、「何を売買すれば良いのか」については知ることができません。

つまり、「ファンダメンタル分析」と「テクニカル分析」を組み合わせることによって、初めて「何を売買すれば良いのか」「いつ売買すれば良いのか」が分かることとなります。

リスクをコントロールしながら適切な投資を行うには、「ファンダメンタル分析」も「テクニカル分析」も欠かすことができないといえるでしょう。

**日本テクニカルアナリスト協会 (NTAA)** は、国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) の創立に関与し、最初から加盟している3協会の1つです。テクニカル分析の通信教育を通じて適切な知識を持つ有資格者の増大に努めると共に、セミナー等を開催して広く「テクニカル分析」の普及啓発活動を行っています。



国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) 加盟  
**日本テクニカルアナリスト協会**<sup>®</sup>  
特定非営利活動法人 (NPO法人)

〒103-0026

東京都中央区日本橋兜町3-3

TEL:03-5847-2231 平日9:00~17:00

URL:<http://www.ntaa.or.jp>

E-Mail:[office@ntaa.or.jp](mailto:office@ntaa.or.jp)

